

平成 30 年度若手研究者海外発表支援事業
(第 33 回日本薬物動態学会・MDO 国際合同年会)

募集要項

日本薬物動態学会では、平成 30 年度若手研究者海外発表支援の一環として第 33 回日本薬物動態学会・MDO 国際合同年会での発表支援を募集します。

1. 趣旨

日本薬物動態学会は薬物動態学の将来を担う優れた国際的人材の育成を目指しており、国際化推進事業の一環として若手研究者の会員の国際学会における発表を支援します。

本支援事業は日本薬物動態学会の「国際対応基金」を効果的に活用し、若手研究者の会員の関連国際学会での参加・発表にかかる費用の一部を支援するものです。

薬物動態学領域の研究に意欲的に取り組んでおり、海外研究者との交流経験を生かして、日本薬物動態学会の活性化に寄与することが期待できる若手研究者の応募をお待ちしています。

2. 支援対象者

支援対象は、下記の要件を満たす薬物動態学領域の若手研究者とします。

- I. 日本薬物動態学会の会員
- II. 原則として大学院生、もしくは学位（博士）取得後 5 年以内の若手研究者。なお、6 年制薬学部の 5、6 年生は大学院生相当とします。
- III. 33 回日本薬物動態学会・MDO 国際合同年会においてポスター発表の演題登録、及び参加登録を完了した研究者

3. 支援予定者数

本事業での採用予定者は、10 名程度を目安とする。

4. 支援費用

派遣に要する旅費・日当及び宿泊料、参加費として、一人当たり 5 万円を支給する。

5. 申請手続

本事業の趣旨に賛同し応募を希望する者は、「第 33 回日本薬物動態学会年会発表支援申請書（別紙様式）」に必要事項を記入し、推薦者（日本薬物動態学会会員）の自筆署名、捺印の上、日本薬物動態学会事務局宛に送付して下さい。

申請者本人の演題登録及び参加登録完了を証明できる書類を添付して下さい。証明書類の提出がない場合、選考対象外となります。また、申請書に不備がある場合は審査対象とはならない場合があります。

6. 申請書類提出期限

~~平成 30 年 7 月 2 日（月）（必着）~~

（再延長しました）平成 30 年 7 月 21 日（土）（必着）平成 30 年 7 月 30 日（月）（必着）

7. 書類送付先

〒100-0003 東京都千代田区一ツ橋 1-1-1 パレスサイドビル
株式会社毎日学術フォーラム内
日本薬物動態学会事務局 「若手研究者海外発表支援事業」担当者
TEL : 03-6267-4550 FAX : 03-6267-4555
E-mail : maf-jssx@mynavi.jp

8. 採用決定時期

採用者は選考委員会で選考し、9月頃に事務局から連絡します。なお、円滑な手続を進めるため、採用決定者は日本薬物動態学会事務局と緊密に連絡を取り合ってください。

9. 本事業で採用された方は、平成30年10月31日までに、1)発表や討論を通じて、今後の自分の研究活動に有益になると感じた点、2)他の研究者による興味深い・有益な発表演題を3題以内で簡潔に解説、3)薬物動態学会会員に伝えたいこと、4)学会会場や採用者本人が写っている発表の写真、海外研究者との写真などを盛り込んだ報告書(日本語で800~1000字程度)を日本薬物動態学会事務局へ提出して下さい。なお、報告書は日本薬物動態学会のホームページで公開する予定です。

なお、学会に不参加や期限までに報告書が提出されない場合は支援金を返金していただく場合があります。

10. 派遣者の内数名には、別途、DMPK NEWS letter へ派遣内容に関する記事の執筆を依頼する予定です。

11. 選考に当たっては、発表要旨の内容の学術的価値や支援対象学会における本発表の意義、薬物動態学領域に対する貢献、学会参加期間、動態学会および関連学会における発表歴および受賞歴、等を総合的に考慮します。

応募者が多数の場合には、できる限り広い研究領域の若手研究者に機会を設けるため、同一研究室の若手研究者支援集中は避けるようにします。